

- 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
- きれいな緑と水と空を守りましょう
- 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
- すぐれた教育と文化を育てましょう
- 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう

昭和61年7月15日

◎発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)  
◎編集 秘書広報課 ◎電話 075(931)1111夏休みに  
向けて

## 有意義に過ごす工夫を



元気な子供たち

待ちに待った夏休みはもう目の前、子供たちのはしゃぎ声が聞こえてくるようです。しかし、長い夏休みもうかうかしていると、すぐに終わってしまいます。貴重な時間を有意義なものにするため、夏休みの方を工夫し、生活のリズムを保つて心身共に健全な生活を送りましょう。

もうすぐ夏休み、学習や旅行、学校生活で体験できないいろいろな計画、そういった楽しいことが集中的に行える絶好の期間です。でも、このチャンスを有り、規則正しい学校生

意義に過ごすこと、うまく活用できなくて無為に過ごすことも本人次第です。また、規則正しい学校生

活のリズムも日がたつうちに

崩れはじめ、次第に気が緩みがちになり易いのもこ

の長い夏休みです。

しかし、何といっても

家族全員で、今年の夏休

みは印象に残る貴重なもの

であったと、何年たつても

懐かしく思い出されるもの

にしたいものです。

そのためには日常生活に目標を定めることが必要です。次のことを参考にされてしまいかがでしょうか。そして実りある夏休みを過ごしましょう。

最後までできる長期の目標を

6週間もの休みがあると

いう油断から、ついつい無

為に毎日を過ごしがちにな

ります。

夏休みならではといえる

長期の目標を立てて毎日少

しづつ取り組めるものを工

夫します。

世界の名作小説を、ペー

ジを区切って読んだり、不

得手な科目を集中的に勉強

したりするのも一つの方法

です。また体力作りに、何

メートルまで泳げるよう

に育った子供たち、彼ら

が責任を持って果たすべき役割を与えましょう。

欲しいものは何でも手に

はいる時代に、わがまま一

杯に育った子供たち、彼ら

の最も苦手なものは辛抱

ることです。

夏休みを契機に子供への

無関心を排除し、自分の身

の回りのことに責任を持たせたり、家事労働を分担させ

るように工夫したいもの

です。子供は家族の一員として

認められることによって、

自覚と責任の認識を深めて

いきます。

夏休み中は、子供はたい

てい親の身近なところにい

ません。

## 規則正しく 節度ある生活を

なるなどといった目標を立てるよりもよいでしょう。大切な事は、最後までやり通せるプラン、つまり無理のない計画を立てることです。

親も、こういった子供の自主性を尊重し、側面から援助してあげてください。学校生活から自由になります。

休みにはいると、明日は学校に行かなくてもよいという安心感から、夜遅くまでテレビを見たり、本を読みだちと遅くまで遊んだり、帰宅が遅れたりします。

休みには、生活のリズムが不規則になって、無断外泊や家出が目立ち始めます。それらが引き金になつて、金銭・物品盗などの犯罪が増加しています。

また、興味本位での薬物乱用、シンナーの吸飲、飲酒、喫煙などの行動もまた解放感が先行して友達と一緒にリズムで毎日を送る事も必要です。

学校を離れてのんびり暮らすのも夏休みの楽しみの一つですが、やはり通学している時と同じリズムで毎日を送る事も必要です。

学校で離れてのんびり暮らすのも夏休みの楽しみの一つですが、やはり通学している時と同じリズムで毎日を送る事も必要です。

親にとって、成長会です。

家族ぐるみで、何か一つの目標を立てることがあります。親にとって、成長

り、生活のリズムが不規則になつて、無断外泊や家出が目立ち始めます。それらが引き金になつて、金銭・物品盗などの犯罪が増加しています。

また、興味本位での薬物乱用、シンナーの吸飲、飲酒、喫煙などの行動もまた解放感が先行して友達と一緒にリズムで毎日を送る事も必要です。

学校を離れてのんびり暮らすのも夏休みの楽しみの一つですが、やはり通学している時と同じリズムで毎日を送る事も必要です。

親にとって、成長会です。

## 非行を防ぐ

夏休みの非行の傾向としては主に次のようなるのがあります。

学校生活から自由になります。

これらはすべて、学校

生活から解放されれたという自由な気分と、時間に制約されない不規則な生活から生じるもので

あります。

これらはすべて、学校

生活から解放されれたという自由な気分と、時間に制約されない不規則な生活から生じるもので

あります。